

分 類：臨床医学アドバンストコース

授業科目名：総合診療・検査診断学（Clinical Reasoning and Laboratory Medicine） - 感染・免疫アレルギー・総合診療アドバンスト・コース -

対象学年：4 年次 選択

時間割コード：71594005

開設学期等：第 13 週

単 位 数：0.5

1. 主任教員

植木重治（教授、総合診療・検査診断学講座、6209、オフィスアワー：8：30～17：00）

2. 担当教員

植木重治（教授、総合診療・検査診断学講座、6209、オフィスアワー：8：30～17：00）

嵯峨知生（病院教授、附属病院感染制御部、6248、オフィスアワー：8：30～17：00）

守時由起（准教授、総合診療・検査診断学講座、6209、オフィスアワー：8：30～17：00）

嵯峨亜希子（助教、総合診療・検査診断学講座、6209、オフィスアワー：8：30～17：00）

引地悠（特任助教、男鹿なまはげ地域医療・総合診療連携講座、6428、オフィスアワー：8：30～15：00）

奈良光彦（医員、附属病院総合診療部、6209、オフィスアワー：8：30～17：00）

長谷川諒（医員、附属病院総合診療部、6209、オフィスアワー：8：30～17：00）

宮部結（医員、附属病院総合診療部、6209、オフィスアワー：8：30～17：00）

肥塚慶之助（医員、仙北ウェルビーイング地域医療・総合診療連携講座、6428、オフィスアワー：8：30～17：00）

高橋琴乃（医員、附属病院総合診療部、6209、オフィスアワー：8：30～17：00）

3. 授業のねらい及び概要（学修目標）

主訴と病歴および患者背景から臨床的問題点を抽出し、可能性のある疾患・病態を列挙でき、適切な臨床検査を選択できる。(3-2～3-3, 4-1～4-2)

さらに、本領域が関連するプロフェッショナリズム、医の倫理、医療安全、医療法（制度）、EBM について説明・実践できる。(1-1～1-2, 3-3, 3-5, 3-7, 4-4)

4. 教科書・参考書

5. 成績評価の方法

出席、発表および課題提出

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

受入予定人数：6 名

診断学、検査学、一般内科を予習しておくといよい。

| 講義内容・具体的到達目標・学修目標 |              |         |            |   |       |   |
|-------------------|--------------|---------|------------|---|-------|---|
|                   | 開講月日         | 時限      | 授業形式       | 講義内容・具体的到達目標・学修目標   | 担当教員  | 場所                                      |
| 1                 | 6月29日<br>(月) | 1-2 時限  | グループ<br>学習 | テーマ：オリエンテーション<br>実習の概要について説明する  | 植木重治  | 南臨床研究<br>棟 4 F                          |
| 2                 | 6月29日<br>(月) | 3-4 時限  | グループ<br>学習 | テーマ：ケース・スタディ1<br>主訴、病歴、患者背景等から可能性のある疾患や病態<br>を列挙でき、診断アプローチや適切な臨床検査の選択<br>について解釈できる  | 植木重治  | 血液骨髄形<br>態検査室/<br>中央検査部<br>カンファ<br>ランス室 |
| 3                 | 6月29日<br>(月) | 5-6 時限  | グループ<br>学習 | テーマ：ケース・スタディ2<br>主訴、病歴、患者背景等から可能性のある疾患や病態<br>を列挙でき、診断アプローチや適切な臨床検査の選択<br>について解釈できる  | 引地悠   | 血液骨髄形<br>態検査室/<br>中央検査部<br>カンファ<br>ランス室 |
| 4                 | 6月29日<br>(月) | 7-8 時限  | グループ<br>学習 | テーマ：総合診療カンファランス<br>総合診療部カンファランスへ参加し、総合的な症状に<br>対する診断アプローチや基本的な臨床検査データを理解<br>し、解釈できる | 植木重治  | 中央検査部<br>カンファ<br>ランス室                   |
| 5                 | 6月29日<br>(月) | 9-10 時限 | グループ<br>学習 | テーマ：ケース・スタディ3<br>主訴、病歴、患者背景等から可能性のある疾患や病態<br>を列挙でき、診断アプローチや適切な臨床検査の選択<br>について解釈できる  | 守時由起  | 血液骨髄形<br>態検査室/<br>中央検査部<br>カンファ<br>ランス室 |
| 6                 | 6月30日<br>(火) | 1-2 時限  | グループ<br>学習 | テーマ：ケーススタディ4<br>主訴、病歴、患者背景等から可能性のある疾患や病態<br>を列挙でき、診断アプローチや適切な臨床検査の選択<br>について解釈できる   | 嵯峨知生  | 血液骨髄形<br>態検査室/<br>中央検査部<br>カンファ<br>ランス室 |
| 7                 | 6月30日<br>(火) | 3-4 時限  | グループ<br>学習 | テーマ：ケース・スタディ5<br>主訴、病歴、患者背景等から可能性のある疾患や病態<br>を列挙でき、診断アプローチや適切な臨床検査の選択<br>について解釈できる  | 嵯峨亜希子 | 血液骨髄形<br>態検査室/<br>中央検査部<br>カンファ<br>ランス室 |
| 8                 | 6月30日<br>(火) | 5-6 時限  | グループ<br>学習 | テーマ：ケース・スタディ6<br>主訴、病歴、患者背景等から可能性のある疾患や病態<br>を列挙でき、診断アプローチや適切な臨床検査の選択<br>について解釈できる  | 肥塚慶之助 | 血液骨髄形<br>態検査室/<br>中央検査部<br>カンファ<br>ランス室 |
| 9                 | 6月30日<br>(火) | 7-8 時限  | グループ<br>学習 | テーマ：ケース・スタディ7<br>主訴、病歴、患者背景等から可能性のある疾患や病態<br>を列挙でき、診断アプローチや適切な臨床検査の選択<br>について解釈できる  | 長谷川諒  | 血液骨髄形<br>態検査室/<br>中央検査部<br>カンファ<br>ランス室 |
| 10                | 6月30日<br>(火) | 9-10 時限 | 自主学習       | テーマ：プレゼンテーション 準備  | 植木重治  | 血液骨髄形<br>態検査室/<br>中央検査部<br>カンファ<br>ランス室 |
| 11                | 7月1日<br>(水)  | 1-2 時限  | グループ<br>学習 | テーマ：ポートフォリオ発表<br>実習の振り返りと課題の発表を行う   | 植木重治  | 南臨床研究<br>棟 4F                           |
| 12                | 7月1日<br>(水)  | 3-4 時限  | 全体討議       | テーマ：フィードバック<br>実習の目標達成に必要な問題解決や成長促進を目的と<br>したコメントを行う                                | 植木重治  | 南臨床研究<br>棟 4F                           |